令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	中小企業支援				款	03	項	05	目	01	事業	001	整理番号	094
現担当課名	産業振興センター			係名							連絡先電話番号		昨年度整理番号	089
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興									予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和25年度	実行計画事業		分野	02	施策	08	計画事業	01	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	産業振興センター										事業評価区分	一般		

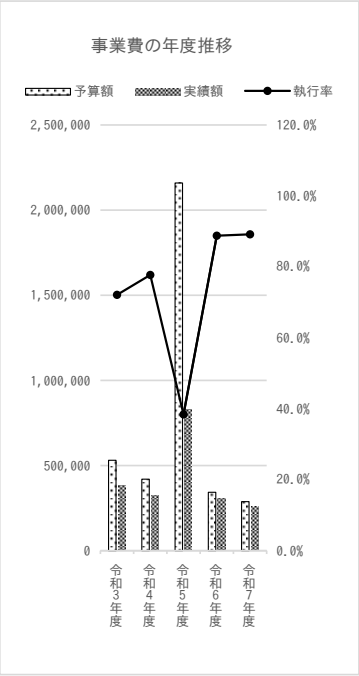
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区内の中小企業者及びこれらで組織する団体、区内で創業を目指す者	杉並区中小企業資金融資あっせん条例 杉並区中小企業資金融資あっせん条例施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○中小企業の経営の安定 ○創業しやすい環境の整備	○区内の中小企業者及び団体の事業用資金に係る融資のあっせんを行う。 ○融資を実行した金融機関に対して利子補給を行う。 ○区内の中小企業者及び団体、創業を目指す者に対して経営等に関する相談・助言（創業・経営相談）を行う。 ○区内で創業を目指す者に対し、創業スタートアップ助成や創業セミナーを実施する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	融資あっせん件数		件	計画	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	710	731	582	-
				達成率	71.0%	73.1%	58.2%	-
	創業支援件数	創業相談、特定創業支援事業、創業セミナー、創業スタートアップ助成、創業支援資金貸付の件数合計	件	計画	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績	1,721	1,721	1,625	-
				達成率	86.1%	86.1%	81.3%	-
成果指標	金融機関貸付件数		件	計画	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	543	564	478	-
				達成率	54.3%	56.4%	47.8%	-
	分類：社会成果（課題）指標							
	創業者数		件	計画	180	180	180	180
				実績	219	204	228	-
				達成率	121.7%	113.3%	126.7%	-
	分類：社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	530,993	420,011	2,159,317	343,012	288,022	307,162
			実績額	382,954	326,466	829,505	304,555	256,843	-
			執行率	72.1%	77.7%	38.4%	88.8%	89.2%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	38,264	37,544	37,431	46,041	47,058	47,704
			実績額	33,122	35,268	38,674	49,796	46,280	-
			執行率	86.6%	93.9%	103.3%	108.2%	98.3%	-
	上記以外の職員		予算額	18,140	11,025	12,873	9,518	9,286	9,812
			実績額	18,375	12,873	13,325	9,379	9,812	-
			執行率	101.3%	116.8%	103.5%	98.5%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	587,397	468,580	2,209,621	398,571	344,366	364,678
			実績額	434,451	374,607	881,504	363,730	312,935	-
			執行率	74.0%	79.9%	39.9%	91.3%	90.9%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	149,449	136,441	495,178	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	149,449	136,441	495,178	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	587,397	468,580	2,209,621	398,571	344,366	364,678
			実績額	285,002	238,166	386,326	363,730	312,935	-
			執行率	48.5%	50.8%	17.5%	91.3%	90.9%	-



特記事項

利子補給にかかる予算執行額が想定より少なかったため、予算の執行残が生じました。
実行計画において「創業支援による創業者数」を施策指標に位置付けていることから、今回の評価から活動指標の一つを、商工相談件数から創業支援件数に換え、また、成果指標の一つを利子補給金額から創業者数に換えて計上することとしました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	094

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	中小企業資金融資利子補給			176,888
	中小企業資金融資信用保証料補助	44	件	2,465
	創業スタートアップ助成	59	件	13,961
	その他（　勤労者支援ほか　）			63,529
取組成果	令和６年度末で借換特例資金融資の受付を終了したことから、中小企業資金融資全体のあっせん件数が令和６年度と比べて149件減少し、582件となりました。 信用保証料補助は、原油価格・物価高騰等特例資金融資にかかる信用保証料補助の受付を令和６年度末で終了したため、令和７年度は全体の件数と事業費が減少しましたが、創業支援資金にかかる信用保証料補助の件数及び事業費は横ばいで推移しています。 創業スタートアップ助成件数は59件となり、内訳としては、家賃助成が41件、ホームページ等作成助成が18件となりました。令和6年度と比べて、全体の件数は横ばいで推移しましたが、家賃助成の割合が高くなりました。 令和７年度に開始した小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の利子補助の決定件数は、85件となりました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	中小企業資金融資あっせん全体の合計件数は582件となりました。令和6年度末で「借換特例資金融資」の受付を終了したことにより、前年度比で149件減少しています。一方で、資金の内訳を見ると「普通資金融資」や「小規模企業小口資金融資」のあっせん件数は増加傾向にあります。エネルギー価格や物価が高止まりし、さらに人手不足への対応や環境対策なども求められる中、区内中小事業者の資金需要を今後も注視していく必要があります。 また、民間金融機関の融資金利が上昇傾向にあり、区の制度融資の表面利率との開きが大きくなりつつあります。そのため金利の見直しも視野に入れる必要がありますが、物価高などの影響が続く中、区内事業者の経営に配慮しながら慎重に検討を進めていく必要があります。 そのほか、人気の高い創業スタートアップ助成や特定創業支援事業は継続していきますが、創業５年以内で約半数が廃業するというデータもあることから、今後は、創業後のフォローアップをさらに強化し、定着支援を行う必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	令和８年度から新たに、人材雇用、賃金アップ、省エネ・再エネ設備の導入を目的とする融資について、利率を優遇する制度を創設しました。8月中旬までで計114件の優遇適用の申込みがあり、9割が「人材雇用や賃金アップ」を目的としていることから、人件費に対する強い資金需要が見られます。 同じく令和８年度から、区内中小企業等のデジタル化を推進し、業務効率化や生産性向上、新事業の創出等を図るため、デジタル技術の導入に要する経費の一部を助成する「中小企業等デジタル化推進事業助成」を開始しました。８月中旬までで約60件の申請があり、小規模事業者からの申請が中心で、特に「キャッシュレス化」や「自社ホームページの開設」に関する内容が多い状況です。 そのほか、創業スタートアップ助成や創業支援資金融資、中小企業経営強化法に基づく特定創業支援等事業などの区の支援を受けた事業者へのアンケート調査を実施し、創業後の課題解決に向けたフォローアップ支援策を実施していきます。
事業の方向性・改善策	多くの区内中小企業において、慢性的な人手不足や人件費の上昇への対応に加え、原材料費やエネルギーコストの上昇など、事業継続に影響を及ぼす様々な課題に直面しています。 このような状況を踏まえ、デジタル化、人材確保・賃上げ及び省エネルギー化に向けた取組を総合的に支援するとともに、創業後の成長段階に応じたフォローアップ支援を充実することで、区内事業者の生産性向上、経営基盤の強化及び持続的な地域経済の発展につなげていきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	創業後の事業成長期にある事業者に対するフォローアップ支援を充実していくため、事業所アドバイザー派遣や経営改善セミナーの実施等の経費を拡充します。 創業・経営相談の予約について、インターネット予約システムを導入することで、利用者の利便性向上を図るとともに、予約受付業務のデジタル化を推進していきます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	創業後は、これまでアンケート調査を実施するのみでしたが、事業所アドバイザー派遣や経営改善セミナーを拡充することで、利用した事業者の経営状況や経営課題を分析し、事業者の経営の安定化と区内定着化に向けた支援策を検討していきます。 これまで、創業・経営相談は電話により予約を受けていましたが、相談予約システムを新たに導入することで、インターネットで空き状況をリアルタイムで確認でき、時間や場所を問わず相談予約を行うことが可能となり、創業・経営相談サービスの利便性向上を図ることができます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	商店街支援				款	03	項	05	目	01	事業	002	整理番号	095
現担当課名	産業振興センター			係名	商業係						連絡先電話番号	03-5347-9138	昨年度整理番号	090
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興									予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和63年度	実行計画事業	分野	02	施策	08	計画事業	03			主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	産業振興センター										事業評価区分	一般		

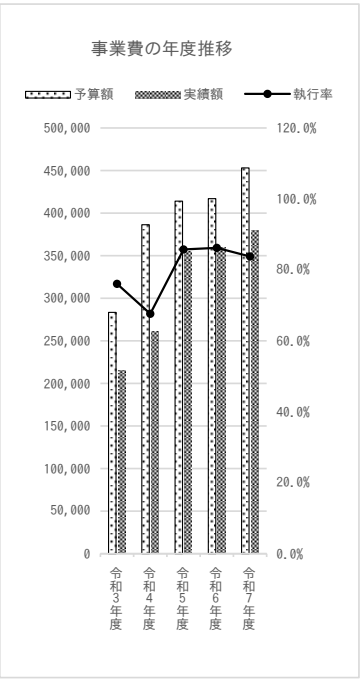
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
商店会等	杉並区商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金交付要綱 杉並区政策課題対応型商店街事業費補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○イベント助成等により商店街のにぎわいづくりを促進するとともに、装飾灯LEDランプの交換や防犯カメラ設置の助成により、安全・安心に買い物ができる環境を整備する。 ○商店街を含めた地域一帯のにぎわい創出に向けて行う取組を支援することにより、地域の活性化を推進する。	○商店街が実施するイベント事業経費を助成する。 ○商店街の施設整備に要する経費を助成する。 ○LED装飾灯のランプ交換・維持経費等を助成する。 ○防犯カメラの設置・維持経費等を助成する。 ○商店街マップ作成・情報化推進の事業の経費を助成する。 ○商店街へ助言等を行うアドバイザーを派遣する。 ○商店街が実施する未来を創る商店街支援事業経費を助成する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数		件	計画	110	100	100	100
				実績	75	86	90	-
				達成率	68.2%	86.0%	90.0%	-
	装飾灯ＬＥＤ化及び防犯カメラ設置補助商店街数		商店街	計画	7	8	6	7
				実績	7	3	8	-
				達成率	100.0%	37.5%	133.3%	-
成果指標	商店街のイベントに参加したことのある区民の割合	区民意向調査による	%	計画	44	45	46	47
				実績	35	39.3	41.9	-
				達成率	79.5%	87.3%	91.1%	-
	分類　区民満足度指標							
	商店会加盟店舗数	年度末の杉並区商店会連合会加盟商店会の店舗数	店	計画	5,800	5,800	5,800	5,800
				実績	5,324	5,266	5,166	-
				達成率	91.8%	90.8%	89.1%	-
	分類　社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	283,415	386,357	414,066	416,985	453,081	401,957
			実績額	215,575	261,270	355,100	359,478	379,579	-
			執行率	76.1%	67.6%	85.8%	86.2%	83.8%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	51,018	46,676	58,226	35,577	51,336	54,735
			実績額	48,807	52,160	60,522	40,213	54,735	-
			執行率	95.7%	111.7%	103.9%	113.0%	106.6%	-
	上記以外の職員		予算額	7,256	7,350	3,678	7,614	4,643	4,906
			実績額	5,660	4,303	3,807	8,125	4,906	-
			執行率	78.0%	58.5%	103.5%	106.7%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	341,689	440,383	475,970	460,176	509,060	461,598
			実績額	270,042	317,733	419,429	407,816	439,220	-
			執行率	79.0%	72.1%	88.1%	88.6%	86.3%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	101,085	147,668	173,238	179,544	176,383	0
			実績額	73,604	91,338	144,604	148,618	0	-
			執行率	72.8%	61.9%	83.5%	82.8%	0.0%	-
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	101,085	147,668	173,238	179,544	176,383	0
			実績額	73,604	91,338	144,604	148,618	0	-
			執行率	72.8%	61.9%	83.5%	82.8%	0.0%	-
	差引：一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	240,604	292,715	302,732	280,632	332,677	461,598
			実績額	196,438	226,395	274,825	259,198	439,220	-
			執行率	81.6%	77.3%	90.8%	92.4%	132.0%	-



特記事項

商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（イベント事業）件数は増加傾向にあるものの、商店街チャレンジ戦略支援事業費補助（活性化事業）及び商店街トライアル事業の一部事業を見送ったこと等により、執行率は83.8%となりました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	095

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業）	92	件	163,272
	商店街チャレンジ戦略支援事業（活性化事業）	6	件	11,213
	商店街防犯設備の整備等に対する補助	8	件	31,477
	ＬＥＤ装飾灯のランプ交換に対する補助	237	件	6,666
	その他（　商店街装飾灯建設助成等　）			166,951
取組成果	商店街のにぎわいにつながるイベント事業を92件支援したほか、老朽化した装飾灯やフラッグをはじめとする商店街施設の整備、販売促進等の活性化事業6件を支援しました。その他、安心・安全な商店街環境の整備を図るため、8商店街に計102台の防犯カメラの設置補助を行うとともに、耐用年数を経過したＬＥＤ装飾灯のランプ交換に要する経費について、東京都の補助制度を活用し237件の全額補助を行いました。また令和7年度からの新たな取組として、商店街のキャッシュレス化の推進を図るために、商店街が独自にポイント還元率やポイント付与上限、事業者を決定し実施する「キャッシュレスポイント還元事業」10件、来街者の増加を図るために、SNSで商店街をPRする「ショート動画事業」2件の支援を行いました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	商店街のにぎわい創出につながる「商店街チャレンジ戦略支援事業」のイベント実施件数は、令和6年度の86件から令和7年度は92件へ増加し、商店街活動は着実に活性化しています。また、商店街施設の整備やインバウンド需要に対応した販売促進事業への支援に加え、令和7年度からは、商店街が主体的に実施する「キャッシュレスポイント還元事業」や、SNSを活用した「ショート動画事業」への支援を開始し、時代の変化に対応した商店街の取組を後押ししました。 一方で、物価高騰の影響に加え、商店街役員の高齢化や後継者不足などにより、活動の継続や新たな取組の実施が難しくなっている商店街も依然として存在しています。そのため、各商店街の実情や課題を丁寧に把握し、実態に応じたきめ細やかな支援や助言を継続して行っていく必要があります。 また、安心・安全な商店街環境の整備については、防犯カメラ設置補助の上限額を600万円から825万円へ増額したことなどにより、8商店街102台の支援を行いました。さらに、耐用年数を経過したLED装飾灯のランプ交換についても、東京都の補助制度を活用し、237件の全額補助を実施しました。今後も、商店街施設の老朽化への対応や維持管理負担の軽減を図りながら、安全・安心で環境に配慮した商店街づくりを推進していきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	令和8年度の商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業）の申請件数は、令和7年度から新たに追加された商店街がこども向けに実施する「こども応援事業」及び交流自治体や被災地等と連携して実施する「全国連携事業」の申請増加により、前年度実績を7件上回る99件となっています。 また、東京都の補助対象外である、商店街が独自にポイント還元率や付与上限、実施事業者を決定して実施するキャッシュレスポイント還元事業（10件実施予定）や、商店街の日常の様子をSNSで発信するショート動画事業（4件実施予定）についても、昨年度に引き続き実施しています。これにより、デジタル技術を活用した商店街の利用促進及び情報発信を推進してまいります。
事業の方向性・改善策	耐用年数を経過した経過したLED装飾灯の点検に要する経費について、令和8年度から新たに東京都の補助制度を活用し、全額補助を行うほか、LED装飾灯灯具の落下や倒壊等、万が一の危険に備えて損害賠償保険の加入に対して補助を行い、安心・安全な商店街づくりを推進していきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	商店街トライアル事業の共催でのイベントの実施について、補助上限額を拡充するほか、商店街地域力向上事業の補助率及び補助上限額を拡充します。こうした支援により、商店街の活性化を図っていきます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	現状維持
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	商店街は、区民の日常的な買い物の場であるとともに、地域住民の交流や安心・安全なまちづくりを支えるなど、地域コミュニティの形成と維持に重要な役割を果たしています。こうした地域を支える基盤としての機能を将来にわたり維持・向上させていく必要があります。 このため、商店街や地域ごとの特性を踏まえ、商店街間の連携による新たな取組に対する支援等、商店街の実情に合わせたきめ細やかな支援を実施するとともに、防災・防犯、見守り、環境美化、地域交流など商店街の地域力向上に資する取組を支援し、地域の生活基盤の拠点となるような商店街づくりを推進します。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	アニメの振興と活用			款 03	項 05	目 01	事業 003	整理番号	096
現担当課名	産業振興センター	係名 観光係				連絡先電話番号	5347-9184	昨年度整理番号	091
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成12年度	実行計画事業	分野 02	施策 08	計画事業 05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	産業振興センター					事業評価区分	一般		

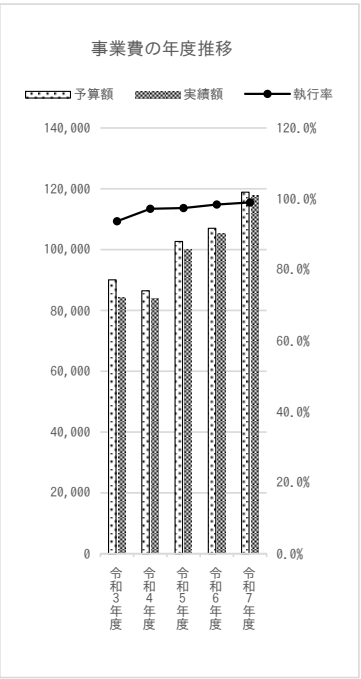
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区民、区外来館者、商店街関係者、アニメ産業関係者	杉並区立杉並会館条例 杉並区公式アニメキャラクター使用取扱要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○杉並アニメーションミュージアムを軸に、区内アニメ制作会社のコンテンツや区公式アニメキャラクター「なみすけ」等を活用し、広域的に来街者を誘致し、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図る。	○杉並アニメーションミュージアムを運営する。 ○アニメを活かした商店街等の振興を図る。 ○区公式アニメキャラクター「なみすけ」のＰＲ、使用料の無償化による商用利用を促進する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	杉並アニメーションミュージアムのホームページ表示回数		回	計画	－	－	－	480,000
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－
	「なみすけ」等の着ぐるみ延使用日数		日	計画	80	80	80	90
				実績	54	62	87	－
				達成率	67.5%	77.5%	108.8%	－
成果指標	杉並アニメーションミュージアムの年間来館者数		人	計画	45,000	50,000	55,000	60,000
				実績	57,291	49,342	71,514	－
				達成率	127.3%	98.7%	130.0%	－
	分類 行政サービス成果指標							
	「なみすけ」使用承認件数		件	計画	80	80	100	200
				実績	88	144	199	－
				達成率	110.0%	180.0%	199.0%	－
	分類 行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	90,056	86,449	102,678	107,009	118,883	136,363
			実績額	84,390	84,047	100,036	105,319	117,703	－
			執行率	93.7%	97.2%	97.4%	98.4%	99.0%	－
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	20,407	20,023	19,963	20,090	29,946	26,700
			実績額	25,196	23,706	23,523	30,630	33,731	－
			執行率	123.5%	118.4%	117.8%	152.5%	112.6%	－
	上記以外の職員		予算額	3,628	3,675	3,678	3,807	0	9,812
			実績額	3,675	3,678	4,759	0	5,544	－
			執行率	101.3%	100.1%	129.4%	0.0%	－	－
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	114,091	110,147	126,319	130,906	148,829	172,875
			実績額	113,261	111,431	128,318	135,949	156,978	－
			執行率	99.3%	101.2%	101.6%	103.9%	105.5%	－
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	1,500	1,500	1,950	2,500	10,504
			実績額	1,500	1,851	1,966	2,804	4,874	－
			執行率	－	123.4%	131.1%	143.8%	195.0%	－
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	3,578	3,322	3,279	3,662	3,318	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	－
			執行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	5,000	6,500	6,500	6,950	7,500	15,504
			実績額	10,078	10,173	10,245	11,466	13,192	－
			執行率	201.6%	156.5%	157.6%	165.0%	175.9%	－
	差引：一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	109,091	103,647	119,819	123,956	141,329	157,371
			実績額	103,183	101,258	118,073	124,483	143,786	－
			執行率	94.6%	97.7%	98.5%	100.4%	101.7%	－



特記事項

活動指標「杉並アニメーションミュージアムのホームページ表示回数」については、外部評価委員からの指摘により、「開館日数」の指標から「アニメのまち杉並」の浸透度を図る指標に変更しました。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	096

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	杉並アニメーションミュージアム運営業務委託			72,855
	杉並アニメーションミュージアム建物維持管理委託			16,983
	なみすけの普及			5,890
	他区との連携事業			4,978
	その他（　杉並アニメーションミュージアム著作権更新、光熱水費の支出ほか　）			16,997
取組成果	杉並アニメーションミュージアムでは、人気アニメコンテンツを活用した企画展等を実施した結果、来館者数が令和6年度比22,172人増の71,514人となりました。あわせて、開館20周年を記念したイベントや、総来館者数100万人突破を記念したイベントを実施し、更なる認知度の向上を図ることができました。 また、広域的な取組として、中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会による「アニメマンガフェス」を引き続き開催し、来場者数は令和6年度とほぼ同数の2,808人となりました。 こうした取組により、「アニメのまち杉並」の魅力を広く発信することができました。 さらに、人材確保対策として、アニメ制作会社を対象とした就職相談会を実施し、6事業者、50人が参加しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	当区では、杉並アニメーションミュージアムを拠点とし、区内アニメ制作会社との連携による取組を推進しているほか、中野区・杉並区・豊島区による「中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会」において、広域的な情報発信や「アニメマンガフェス」の実施を進めているところです。 一方、杉並アニメーションミュージアムは、立地条件や企画展の内容によって来館者数が増減する傾向が見られるなど安定的な集客について、また、「アニメマンガフェス」は、単発的なイベントとしての実施にとどまっていることや、3区間の回遊性を確保することが課題となっています。 今後は、杉並アニメーションミュージアムの来館者増に向けた取組や、区内アニメ制作会社との連携会議を通じた継続的な取組を図るとともに、「アニメマンガフェス」における広域的な回遊性の向上を進めていく必要があります。 また、「なみすけ」は人気の高まりにより使用承認件数が目標を上回りました。令和8年度は誕生20周年を迎えるため、イベント等を通じて更なる認知度向上と活用促進を図り、地域のにぎわいづくりにつなげていきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	令和8年4月から7月までの杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、令和7年度同時期と比較して約43％減少し、外国人来館者数についても約22％減少しました。主な要因として、令和7年度は同時期に人気コンテンツの企画展を開催し、多くの来館者を集めたことが挙げられます。一方、令和8年2月には総来館者数100万人を達成するなど、多くの方から高い関心を集めています。今年度は、アニメ制作会社が多く集積する地域特性を活かした取組として、区内アニメ制作会社との連携を一層強化するため、「アニメ制作会社連携会議」を定期的に開催しています。官民連携による情報共有や事業連携を進めることで、来街者の増加や地域回遊の促進、区内消費の拡大を図るとともに、「アニメのまち杉並」の魅力発信と認知度向上に取り組みます。また、中野・杉並・豊島アニメ等地域ブランディング事業実行委員会では、「すぎなみフェスタ」と連動した「アニメマンガフェスin杉並」の開催内容の見直しを行い、ステージイベントを中心とし、更なる集客と情報発信の強化を図ります。今後も、アニメ産業の振興と観光誘客につながる取組を推進するとともに、杉並アニメーションミュージアムの来館促進及び「アニメのまち杉並」の認知度向上に努めます。
事業の方向性・改善策	杉並アニメーションミュージアムについて、更なる来館者数の増加を目指し、人気アニメコンテンツを活用した企画展や常設展示の充実、各種イベントの開催などにより、ミュージアムの魅力向上に取り組みます。また、区内アニメ制作会社との連携を一層強化し、「アニメ制作会社連携会議」を活用した情報共有や事業連携を進めることで、地域回遊の促進や区内消費の拡大を図るとともに、「アニメのまち杉並」の魅力発信と認知度向上に取り組みます。 「なみすけ」については、20周年を契機として、企業等との連携によるイベントの開催やグッズ展開を積極的に進め、更なる認知度向上と利用促進を図ります。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	従来の単発イベントを中心とした取組から、区内アニメ制作会社や関連事業者との連携を一層強化し、トークショーや上映会、クリエイターとの交流企画など、多様なプログラムを年間を通じて実施するとともに、商店街や地域団体等と連携した地域密着型イベントの実施を新たに展開していきます。 これにより、区民等のアニメ文化に触れる機会を増やしていくとともに、商店街や地域店舗への来訪者の区内回遊を促進することで、地域消費の拡大につなげます。 さらに、近隣自治体等との連携による広域的な取組を推進することで、「アニメのまち杉並」としてのブランド発信力の強化と地域のにぎわい創出を図ります。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	なみすけについて、誕生20周年を契機として、更なる認知度向上とブランド力強化を図るため、企業等との連携を一層推進します。新たなグッズの制作・販売やイベント等への出演機会の拡大を通じて幅広い世代への発信を強化し、区内外からの来街者の増加や地域のにぎわい創出につなげます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	観光促進			款 03	項 05	目 01	事業 004	整理番号	097
現担当課名	産業振興センター	係名	観光係			連絡先電話番号	5347-9184	昨年度整理番号	092
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成26年度	実行計画事業	分野 02	施策 08	計画事業 04				
令和7年度担当課名	産業振興センター					事業評価区分	一般		

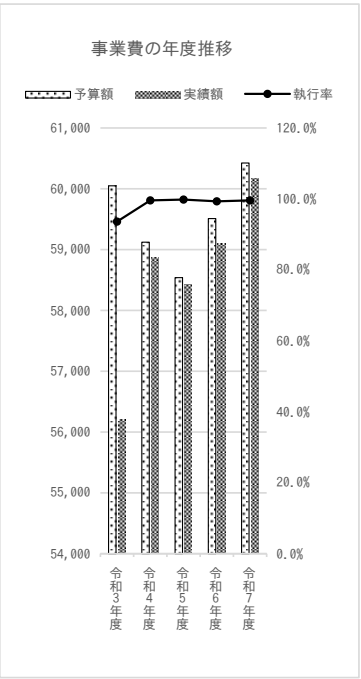
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区民、区外来街者（海外含む）、商店・事業者	中央線あるあるプロジェクト実行委員会規約 東京高円寺阿波おどり振興事業補助金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○杉並区の「良さ」「らしさ」を再発見し、地域の様々な資源を観光コンテンツとして区の内外に広く発信することで、来街者増を図り、持続的な「まちのにぎわい」や「商機」を創出する。	○中央線あるあるプロジェクトを推進する。 ○東京高円寺阿波おどりを支援する。 ○すぎなみ学倶楽部を運営する。 ○魅力発信事業を実施する。 ○フィルムコミッションを運営する。 ○図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及を図る。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	中央線あるあるプロジェクトにおける連携イベント件数	区内の観光事業に係る情報発信等で連携したイベント件数	回	計画	－	－	－	50
				実績	－	－	36	－
				達成率	－	－	－	－
	すぎなみ学倶楽部掲載頁数	ページ、コラム、なみすけインスタグラムへの掲載数	頁	計画	212	212	176	170
				実績	212	212	168	－
				達成率	100.0%	100.0%	95.5%	－
成果指標	共催イベント集客数	東京高円寺阿波おどり及び高円寺フェスの来場者数	人	計画	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000
				実績	1,179,709	1,202,193	1,177,564	－
				達成率	96.7%	98.5%	96.5%	－
	分類 社会成果（課題）指標							
	すぎなみ学倶楽部アクセス数	ページビュー数	件	計画	990,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
				実績	909,296	944,910	969,836	－
				達成率	91.8%	94.5%	97.0%	－
	分類 社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	60,049	59,122	58,539	59,510	60,424	61,366
			実績額	56,211	58,877	58,432	59,107	60,175	－
			執行率	93.6%	99.6%	99.8%	99.3%	99.6%	－
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	39,114	38,378	38,263	38,507	29,946	35,600
			実績額	45,052	45,832	35,242	36,363	33,731	－
			執行率	115.2%	119.4%	92.1%	94.4%	112.6%	－
	上記以外の職員		予算額	3,628	3,675	3,678	3,807	9,286	9,812
			実績額	3,675	3,678	3,807	8,915	5,495	－
			執行率	101.3%	100.1%	103.5%	234.2%	59.2%	－
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	102,791	101,175	100,480	101,824	99,656	106,778
			実績額	104,938	108,387	97,481	104,385	99,401	－
			執行率	102.1%	107.1%	97.0%	102.5%	99.7%	－
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	その他の補助金等③	千円	予算額	4,000	1,163	1,163	632	0	0
			実績額	255	732	743	381	427	－
			執行率	6.4%	62.9%	63.9%	60.3%	－	－
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	4,000	1,163	1,163	632	0	0
			実績額	255	732	743	381	427	－
			執行率	6.4%	62.9%	63.9%	60.3%	－	－
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	98,791	100,012	99,317	101,192	99,656	106,778
			実績額	104,683	107,655	96,738	104,004	98,974	－
			執行率	106.0%	107.6%	97.4%	102.8%	99.3%	－



特記事項

すぎなみ学倶楽部掲載頁数は、インスタグラム記事制作数を内容の充実を図るため月8本から月5本へ見直ししたことにより計画が減少しています。
観光事業に関する一定の情報基盤が整いつつある中、今後は地域団体や事業者等の連携による魅力創出を促進する段階にあることから、活動指標については、これまでの「WEB等情報発信数」から、魅力発信機会の創出状況を把握する「連携イベント件数」に変更します。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	097

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	「にぎわい・商機」創出プログラム（中央線あるあるプロジェクト）			39,000
	すぎなみ学倶楽部の運営			9,576
	観光PR事業委託（魅力発信事業、デザインマンホール蓋制作委託）			6,245
	観光事業補助（東京高円寺阿波おどり）			5,009
	その他（　観光PR（図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及ほか）　）			345
取組成果	中央線あるあるプロジェクトにおいて、新聞等の広告掲載やWEBやSNSによる情報発信、観光ガイドマップの制作等を実施したほか、関係団体と連携し、区内アニメ制作会社の紹介冊子の制作、銭湯を巡るスタンプラリー、荻窪三庭園を活用した抹茶体験会等を実施し、区の特徴的な資源を活用した魅力発信を推進しました。また、地域のイベント36件において情報発信に係る連携を実施し、地域団体や事業者等による主体的な魅力発信の取組支援を図ることができました。さらに、阿佐谷を舞台とした漫画「ひらやすみ」のドラマ化による人気の高まりを契機として、地域と連携した広報活動及びイベントを実施し、来街者の増加につなげるとともに、東京高円寺阿波おどりの共催や「すぎなみ学倶楽部」の運営、フィルムコミッションの推進等にも継続的に取り組み、区のにぎわい創出を図りました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	近年は、地域の日常文化や暮らし、人々との交流を楽しむ観光への関心が高まっており、観光施設が少ない区においても、地域ごとに有する様々な個性や地域資源を生かした「にぎわい・商機」を創出する好機となっています。 一方、令和７年度産業実態調査の結果からは、来街者の滞在時間の短さや訪問箇所の少なさから、地域全体での消費拡大につながっていないことや、観光資源及び中央線あるあるプロジェクトの認知不足といった課題が明らかになりました。今後は、様々な観光資源を効果的に結び付けて回遊性の向上及び再来訪の促進を図ることで、地域全体の経済活性化につなげる必要があります。 また、「すぎなみ学倶楽部」については、区民の主体的な参画を促しながら、区の歴史や文化等を中心に情報発信を行ってきましたが、区民認知度が十分に高い状況とはいえず、発信機能が十分に発揮されていないことが課題となっています。近年、SNSが普及し、情報の主要な取得先となっていることから、多様な区民が参加しやすい仕組みの検討を行うなど、区民参画の在り方を含めて見直しを進める必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	「中央線あるあるプロジェクト」では、「ウルトラマンシリーズ」60周年を記念したフラッグの掲出や、阿佐谷七夕まつりにおける「ひらやすみ」とのタイアップ事業等、地域イベントや商店街等と連携した取組を実施しました。また、「なみすけ」20周年を記念し、地域共創型ポータルサイト「すぎなみプラス」を活用して広く企画提案を募集するとともに、地域の様々な主体が参加する共創型イベントを展開しています。さらに、区内外からの来街促進及び地域経済の活性化につなげるため、令和7年度に引き続き、武蔵野市と連携した飲食店の回遊促進事業に取り組むほか、区内の飲食店や書店等の事業者による地域横断的な連携を促進し、中央線文化を生かしたイベントや情報発信を実施していきます。 「すぎなみ学倶楽部」では、開設20周年を記念した展示の実施に向けた準備を進めているほか、「魅力発信事業」では、「ひらやすみ」のアニメ化を契機として、各地域の特色を生かした区内全域での魅力発信に向けた取組を進めています。
事業の方向性・改善策	地域資源を活用した地域のにぎわい創出につながる事業を引き続き推進します。 あわせて、「中央線あるあるプロジェクト」や「魅力発信事業」の見直しを行い、これまで観光振興事業において形成された地域内のネットワークの基盤を生かし、多様な主体が地域の魅力発掘・発信に参画する体制を構築することで、地域資源の魅力向上や地域活性化を図ります。 また、区内全域の回遊性の向上及び再来訪の促進を図っていくため、デジタル技術や多様な媒体を活用した効果的な情報発信を推進し、来街者の満足度向上及び消費拡大につなげていきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	地域資源の魅力向上及び区内全域の回遊促進を図るため、観光サイトの再構築やデジタル技術の活用により、情報発信力を強化します。また、地域の主体的な取組や連携を支援することにより、地域資源を生かした観光コンテンツの創出・充実に取り組みます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	事業の効果測定やアンケート調査の結果を踏まえ、観光サイトのあり方について検討を進め、再構築を図っていきます。あわせて、区民、事業者及び地域団体等の多様な主体が参画する観光振興体制を構築し、区内全域における魅力発信を推進します。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	農業の支援・育成			款	03	項	05	目	02	事業	002	整理番号	103
現担当課名	産業振興センター		係名	都市農業係						連絡先電話番号	5347 - 9136	昨年度整理番号	096
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興								予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和26年度	実行計画事業	分野	02	施策	08	計画事業	06		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	産業振興センター									事業評価区分	一般		

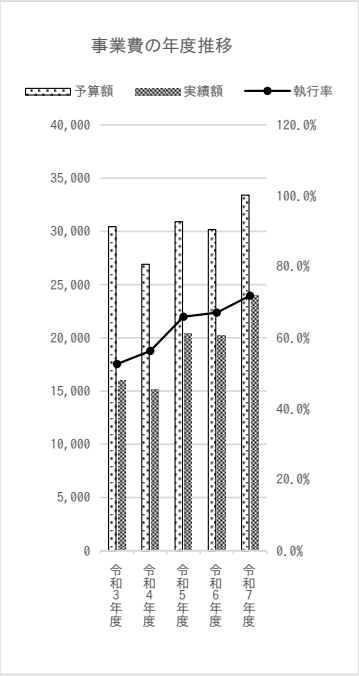
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
一般区民、農業者、農業者団体	杉並区営農活動支援補助金交付要綱 杉並区農業体験農園に対する援助等に関する要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○地産地消事業の推進・拡充 ○営農支援・保全策の充実 ○即売会等を通じた都市農業についての区民理解の向上	○地産地消推進連絡会の運営を行う。 ○営農活動支援費の助成を行う。 ○農業体験農園の開園・運営に関する助成を行う。 ○防災兼用農業用井戸の設置に伴う助成を行う。 ○草花植木野菜等展示即売会を開催（春・秋）する。 ○未来に残す東京の農地プロジェクトに関する助成を行う。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	農業ボランティア登録者数	農業ボランティアバンクの登録者数	人	計画	40	60	70	80
				実績	48	62	78	-
				達成率	120.0%	103.3%	111.4%	-
	区主催即売会実施日数	草花植木野菜等展示即売会（春・秋）	日	計画	3	3	3	3
				実績	3	3	3	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標	農業ボランティアの活用数	農業ボランティアのマッチング人数	人	計画	5	10	15	20
				実績	11	50	96	-
				達成率	220.0%	500.0%	640.0%	-
	分類　社会成果（課題）指標							
	区主催即売会売上金額	草花植木野菜等展示即売会（春・秋）売上金額	千円	計画	1,800	1,800	2,300	2,300
				実績	2,363	2,460	2,028	-
				達成率	131.3%	136.7%	88.2%	-
	分類　利用者満足度指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	30,447	26,910	30,912	30,171	33,410	71,248
			実績額	16,018	15,151	20,386	20,243	24,017	-
			執行率	52.6%	56.3%	65.9%	67.1%	71.9%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	12,755	12,515	12,477	16,742	17,112	24,948
			実績額	12,515	15,638	19,756	17,625	22,339	-
			執行率	98.1%	125.0%	158.3%	105.3%	130.5%	-
	上記以外の職員		予算額	5,442	5,513	5,517	5,711	4,643	4,906
			実績額	5,513	5,517	5,863	8,311	4,906	-
			執行率	101.3%	100.1%	106.3%	145.5%	105.7%	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	48,644	44,938	48,906	52,624	55,165	101,102
			実績額	34,046	36,306	46,005	46,179	51,262	-
			執行率	70.0%	80.8%	94.1%	87.8%	92.9%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	5,707	2,853	7,523	2,853	4,100	38,696
			実績額	0	0	4,245	0	4,451	-
			執行率	0.0%	0.0%	56.4%	0.0%	108.6%	-
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	5,707	2,853	7,523	2,853	4,100	38,696
			実績額	0	0	4,245	0	4,451	-
			執行率	0.0%	0.0%	56.4%	0.0%	108.6%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	42,937	42,085	41,383	49,771	51,065	62,406
			実績額	34,046	36,306	41,760	46,179	46,811	-
			執行率	79.3%	86.3%	100.9%	92.8%	91.7%	-



特記事項

営農活動支援補助金の補助金額の減少及び農業体験農園の新規開園の実績がなかったため執行残が生じました。
活動指標（1）と成果指標(1)を区の取組と成果の因果関係が比較的明確なものに変更しました。
成果指標（1）「農業ボランティアの活用数」については、農業者からの提案を受け令和5年度から農業ボランティアの養成を開始した結果、計画を大幅に上回る実績となりました。令和９年度以降の計画については令和８年度に予定している実行計画の改定の中で検討していきます。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	103

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	営農活動支援費の補助	28	件	8,016
	未来に残す東京の農地プロジェクトに関する助成	2	件	5,192
	企業的農業経営者集団補助	5	件	1,300
	その他（　農業情報誌「杉並農人」発行ほか　）			9,509
取組成果	営農活動の支援として、企業的農業経営集団活動支援助成を5件行ったほか、農業者からの意見を踏まえ、補助対象事業を拡大するなど営農活動支援補助制度を拡充し28件の助成を行いました。また、農業ボランティアの登録数も16名増加し、78名となり、延べ96件マッチングすることができました。 地産地消の推進については、区主催の即売会の開催や学校給食「地元野菜デー」を7月、12月に全区立学校において実施しました。さらに、杉並産農産物の学校給食への提供を一層推進するためモデル校6校を選定し、学校給食で利用する野菜の調整・配送等を試行実施し、各校で杉並産農産物を利用しやすい仕組みづくりを行いました。その他にも、農業情報誌「杉並農人」「農産物直販マップ」や東京都エコ農産物の認証取得農業者を紹介するリーフレットを発行しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	営農活動支援補助制度の拡充など、都市農業の維持・継続のため施策推進に努めるものの、農家戸数及び農地面積は、農家の高齢化や後継者不足などにより年々減少を続けており、令和８年3月31日時点の農地面積は35.5ha、農家戸数は116戸となっています。引き続き、都市農地貸借等制度の普及啓発や農業ボランティアのさらなる育成とマッチングを進めていきます。 また、ＪＡや関係団体との連携を強化し、即売会の開催や情報誌の発行などを通じ、都市農業や農地保全の大切さについての区民理解の促進を図るとともに、「地元野菜デー」の全校実施など地産地消を一層推進していく必要があります。また、令和７年度にモデル校６校で試行実施した学校給食への杉並産農産物利用拡大に向けた取組では、配送や作物の収量の課題等を整理し、令和８年度以降全校実施できるよう取り組んでいきます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	営農活動支援補助金について、農業者の意見を踏まえ補助対象事業を拡充し、30件程度の農家への経営支援を行います。また、農業者の人的支援として、農業ボランティアの養成・登録を進め、前年度を上回る数のボランティアと農業者とのマッチングを見込んでいます。 「地元野菜デー」については、昨年度に引き続き令和８年7月に全区立学校にて実施し、引き続き関係団体と調整を行い12月の実施に向けて準備を進めます。また、杉並産農産物の学校給食への利用拡大については、区及びJAが農業者と学校の間の調整役になるとともに、配送等の新たな仕組みを本格導入し、全校実施に向けて取り組んでいます。
事業の方向性・改善策	営農活動支援補助金の助成などにより、農業経営の安定化を図るとともに、意欲的に取り組む農業者を増やしていくほか、高齢化や後継者不足に悩む農業者と農業ボランティアとのマッチングの推進や、都市農地貸借等制度の普及啓発に努め、都市農地の保全を図ります。また、教育委員会や関係団体との連携を強化し、引き続き「地元野菜デー」の全区立学校での実施を継続するとともに、杉並産農産物の学校給食への利用拡大については、全校実施に向けて配送や作物の収量の課題等を整理しつつ、更なる地産地消を推進していきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	都市農地を保全していくためには、農業の担い手の確保が喫緊の課題であるため、都市農地貸借法等による貸借制度の周知を図るとともに、農業ボランティアバンクの登録者を充実させ、農業者と農業ボランティアとのマッチングを着実に進めていきます。 また、環境への負荷の低減等が図られる地産地消を推進するため、即売会の拡充や教育委員会及び農業関係団体と連携した「地元野菜デー」の区立学校全校における継続実施に向けて取り組むとともに、令和８年度から本格実施をしている杉並産農産物の学校給食への利用拡大については、実施規模を拡大できるようにしていきます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	農地貸借や農業者と農業ボランティアのマッチングを推進するため、より分かりやすいチラシ等を作成するなど周知を積極的に行っていきます。また、杉並産農産物の学校給食への利用拡大を図るため、教育委員会や農業者等と調整・連携を図りながら、参加農家を増やし実施規模を拡大できるようにしていきます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	都市農地確保				款 03	項 05	目 02	事業 003	整理番号	104	
現担当課名	産業振興センター		係名	都市農業係			連絡先電話番号	5347－9136	昨年度整理番号	097	
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和49年度	実行計画事業	分野	02	施策	08	計画事業	06	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和7年度担当課名	産業振興センター						事業評価区分	一般			

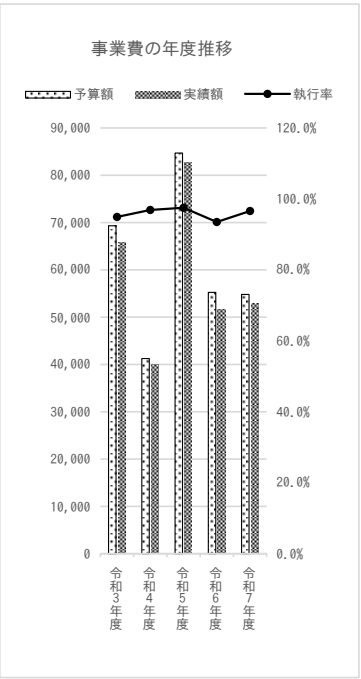
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区民農園：利用抽選に当選した世帯・団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体） 農福連携農園：利用抽選に当選した団体（利用承認された教育又は福祉を目的とする団体）	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律 杉並区特定農地貸付規程
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○農園の区画提供による都市農業への理解喚起 ○農地面積の維持による緑地の保全 ○農地の多面的機能の発揮と理解促進	○区民農園：農業者等から提供された農地を区が管理し、区民農園として区民に野菜づくりや園芸を楽しむ機会を提供する。 ○農福連携農園：農地を活用し、農業と福祉の連携事業として農作業を通じて障害者等のいきがいづくり・健康増進などを図る。 ○団体利用農園：保育園や小学校などの団体利用者に対して、収穫体験等の農に触れ合う機会を提供する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	貸出区画数	区民農園貸出区画数（世帯用）	区画	計画	832	802	793	858
				実績	802	802	793	-
				達成率	96.4%	100.0%	100.0%	-
	農園利用団体数	貸出区画利用障害者施設等団体数	団体	計画	11	11	12	11
				実績	11	11	12	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標	区民農園の面積	区が維持管理している区民農園面積の合計	ｈａ	計画	1.5	1.5	1.5	1.6
				実績	1.5	1.5	1.5	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
	分類　行政サービス成果指標							
	農福連携農園団体利用活動実績	農福連携農園団体利用活動回数	回	計画	340	340	340	340
				実績	294	293	380	-
				達成率	86.5%	86.2%	111.8%	-
	分類　利用者満足度指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	69,331	41,256	84,701	55,242	54,811	612,704
			実績額	65,810	39,973	82,596	51,649	52,946	-
			執行率	94.9%	96.9%	97.5%	93.5%	96.6%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	12,755	12,515	12,477	12,557	17,112	24,948
			実績額	12,515	15,638	19,756	17,112	22,339	-
			執行率	98.1%	125.0%	158.3%	136.3%	130.5%	-
	上記以外の職員		予算額	5,442	5,513	5,517	5,711	4,643	4,906
			実績額	5,513	5,517	5,863	8,311	4,906	-
			執行率	101.3%	100.1%	106.3%	145.5%	105.7%	-
総事業費	（事業費+人件費）	千円	予算額	87,528	59,284	102,695	73,510	76,566	642,558
			実績額	83,838	61,128	108,215	77,072	80,191	-
			執行率	95.8%	103.1%	105.4%	104.8%	104.7%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	4,396	4,430	5,318	5,664	5,680	5,617
			実績額	4,456	4,408	6,202	5,702	5,561	-
			執行率	101.4%	99.5%	116.6%	100.7%	97.9%	-
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	0	0	0	0	50	368,020
			実績額	0	0	17,512	0	50	-
			執行率	-	-	-	-	100.0%	-
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	4,396	4,430	5,318	5,664	5,730	373,637
			実績額	4,456	4,408	23,714	5,702	5,611	-
			執行率	101.4%	99.5%	445.9%	100.7%	97.9%	-
	差引：一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	83,132	54,854	97,377	67,846	70,836	268,921
			実績額	79,382	56,720	84,501	71,370	74,580	-
			執行率	95.5%	103.4%	86.8%	105.2%	105.3%	-



特記事項

農福連携農園団体利用活動実績の増は、団体が1団体増えたことによる。
成果指標（２）の表記を明確にするため「団体利用農園活動実績」から「農福連携農園団体利用活動実績」に変更。
今後の成果指標は、「区民農園の面積」にかえて「農に触れている区民の割合」にすることを検討。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	104

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	区民農園等維持管理委託	8	所	17,755
	農福連携農園管理委託	1	所	27,940
	その他（　事務経費ほか　）			7,251
取組成果	区民農園では、世帯貸793区画、団体貸40区画の合計833区画の貸付となりました。また、上井草二丁目団体利用農園では、区内の小学校や保育園等延べ40団体1,572名の収穫体験を実施するとともに、栄養士及び農業者と給食食材等に関する検討会を行いました。農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂への食材提供を27団体に対し延べ302回行うとともに、不登校状態にある区内児童や認知症高齢者グループホーム利用者による農業体験などの活動が行われました。また、農福連携農園や杉並の農業の魅力を紹介するために、施設内に設置している2次元バーコードの案内板を読み取ることで、農作物や農機具、農福連携農園の取組等に関する情報を取得できるデジタルコンテンツを導入しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	区民が農に親しむ機会の提供に取り組んでいるものの、収穫体験等のイベントの応募者数は依然として高く、定員を大幅に上回る状況が続いていることから十分にあるとは言えないため、都市農業への理解促進のためにも、農業者に協力を得ながら更なる機会の拡充に努めていく必要があります。 また、農福連携農園においては、障害者施設や就労支援センターなど12団体への区画貸出や、障害者・高齢者等のいきがい創出の機会の提供に取り組んでいるところですが、農のもたらす多面的機能、魅力を多くの区民に知ってもらうため、更なる区民ボランティアの育成・活用や、地域との連携事業を進めていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	区民農園では成田西第二区民農園の新規開園に向けて準備を行うとともに、利用方法の指導や農園パトロールを強化し、適切な利用を促しています。また、上井草二丁目団体利用農園では、引き続き保育園や小学校の収穫体験を実施し農業体験の場の確保に努めています。 農福連携農園では、障害者施設や子ども食堂に食材提供し運営を支援しました。また、障害者施設等の11団体に対して農園の区画を貸し出すほか、団体に野菜苗等を提供し、施設内においても農園でのノウハウをいかして栽培してもらうことで、来園が困難な施設利用者に対して農にふれあう機会を創出しています。さらに、障害者施設と連携し、杉並産野菜を活用した加工食品を製造するなど、障害者の方のやりがい創出に取り組んでいます。
事業の方向性・改善策	区民農園の、適切な運営管理方法を検討するため、他自治体の先行事例等を調査・検討していきます。 農福連携農園については、引き続き、障害者施設や子ども食堂に食材提供等の運営を支援するとともに、障害者施設等へ農園の区画を貸し出し、障害者などのいきがい創出や健康増進を図っていきます。また、連携する高齢者施設を増やしていくなど、高齢者のいきがい創出や健康増進を図っていきます。 その他、後継者のいない農地等を活用するための方針を定め、都市農地の保全を図ります。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	農地貸借による農地の活用を広げるなど、農にふれあう場としての農業体験の機会を充実できるように努めていきます。 農福連携農園では、団体農園区画利用者への新たなやりがい創出を目的とした区画利用団体による加工食品の製造、販売に向けて、障害者施設と連携協力をしながら検討・実施していきます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	区民農園については、運営管理方法の見直しをしていくとともに、農福連携農園に関しては、事業者や障害者施設等と連携を図りつつ、事業実施方法の改善を図っていきます。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	就労支援				款 03	項 05	目 04	事業 001	整理番号	106	
現担当課名	産業振興センター		係名	就労・経営支援係			連絡先電話番号	5347-9077	昨年度整理番号	099	
上位施策No・施策名	08	にぎわいと活力を生み出す地域産業の振興					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成24年度	実行計画事業	分野 02	施策 08	計画事業 02	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	産業振興センター						事業評価区分	一般			

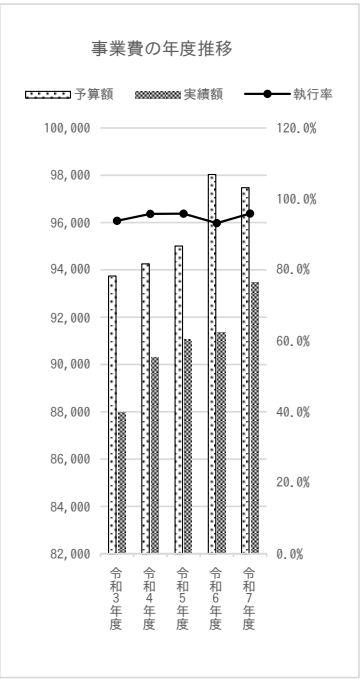
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
若者を中心とした求職者及び区内事業者	杉並区就労支援センター運営要綱 杉並区と東京労働局及び新宿公共職業安定所が雇用、産業施策等を一体的に実施するための協定
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○求職者の個々の状況に応じて就労準備相談等の支援を実施し、より多くの求職者が就職に結び付くようにする。 ○区内事業者の雇用支援を実施し、区内事業者と求職者とのマッチングを図る。	○求職者に対して就労準備相談、就労支援セミナー、職業相談、職業紹介、定着相談支援を実施する。 ○相談の利用だけでは就職に至らない若者等に対して社会適応力訓練、就労準備訓練を実施する。 ○ハローワークと連携し、就職面接会を実施する。 ○区内事業者の特徴や魅力を含む求人情報を求職者に情報提供する。 ○インターネット・応募書類作成パソコンコーナー、就職情報コーナーを運営する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	就労準備相談・心としごとの相談件数		件	計画	2,150	2,150	2,150	2,150
				実績	1,714	1,575	1,797	-
				達成率	79.7%	73.3%	83.6%	-
	職業相談件数		件	計画	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績	6,203	7,350	7,072	-
				達成率	124.1%	147.0%	141.4%	-
成果指標	就労準備相談者の就職決定件数		件	計画	160	160	160	160
				実績	176	190	227	-
				達成率	110.0%	118.8%	141.9%	-
	分類 社会成果（課題）指標							
	ハローワークでの就職決定件数		件	計画	690	690	690	690
				実績	369	389	374	-
				達成率	53.5%	56.4%	54.2%	-
	分類 社会成果（課題）指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	93,740	94,254	95,009	98,032	97,474	105,810
			実績額	87,955	90,275	91,062	91,337	93,462	-
			執行率	93.8%	95.8%	95.8%	93.2%	95.9%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	12,755	12,515	12,477	12,557	12,834	13,350
			実績額	12,515	14,557	12,557	12,834	13,350	-
			執行率	98.1%	116.3%	100.6%	102.2%	104.0%	-
	上記以外の職員		予算額	3,628	3,675	1,839	1,904	4,643	4,906
			実績額	3,675	1,839	1,904	2,322	4,906	-
			執行率	101.3%	50.0%	103.5%	122.0%	105.7%	-
総事業費	（事業費+人件費）	千円	予算額	110,123	110,444	109,325	112,493	114,951	124,066
			実績額	104,145	106,671	105,523	106,493	111,718	-
			執行率	94.6%	96.6%	96.5%	94.7%	97.2%	-
財源	受益者負担分 ①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金 ②	千円	予算額	2,337	2,686	2,706	2,692	1,978	2,066
			実績額	1,369	2,127	2,278	2,718	902	-
			執行率	58.6%	79.2%	84.2%	101.0%	45.6%	-
	その他の補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源 （①+②+③）	千円	予算額	2,337	2,686	2,706	2,692	1,978	2,066
			実績額	1,369	2,127	2,278	2,718	902	-
			執行率	58.6%	79.2%	84.2%	101.0%	45.6%	-
	差引：一般財源 （総事業費-特定財源）	千円	予算額	107,786	107,758	106,619	109,801	112,973	122,000
			実績額	102,776	104,544	103,245	103,775	110,816	-
			執行率	95.4%	97.0%	96.8%	94.5%	98.1%	-



特記事項

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	106

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	若者就労支援コーナー（すぎＪＯＢ)の運営業務委託			43,500
	就労準備訓練及び社会適応力訓練支援事業（すぎトレ）業務委託			27,391
	就職相談会・面接会の実施	50	回	3,282
	就労支援センター維持管理			15,279
	その他（　ハローワークコーナー運営ほか　）			4,010
取組成果	若者就労支援コーナー新規登録者数は878人（令和6年度853人）、就労準備相談・心としごとの相談件数は延べ1,797件（同1,575件）、就職決定件数は227件（同190件）、ジョブトレーニングコーナー利用登録者数は104人（同73人）、修了者数は111人（同63人）、ハローワークコーナー就職決定件数は374件（同389件）となりました。また、就職相談会・面接会を50回実施し、延べ126事業者、570人が参加し、72人の就職につながったほか、就労支援センターにおいて、就職相談・面接ブースを実施し、延べ21事業者、132人が参加し、11人の就職につながりました。 さらに、求人情報サイト「就職応援ナビすぎなみ」では、1,890件の新規求人を掲載したほか、新たに就労支援センターのInstagramの運用を開始し、就労支援事業の案内やイベント情報の周知の強化に取り組むなど、情報発信の多角化により求職者への効果的な周知とサービス利用の促進を図りました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	若者就労支援コーナーでは、新規登録者数、就労準備相談・心としごとの相談件数、就職決定数のいずれも令和6年度実績を上回りましたが、就労準備相談・心としごとの相談件数は目標値を達成することができませんでした。相談件数は、利用者の状況に応じた機関の案内や、少ない相談回数で就職できた際に減少する傾向が見られますが、支援を必要とする方の相談件数を上げるための取組を進める必要があります。 ジョブトレーニングコーナーでは、利用登録者が令和6年度に比べて約1.4倍に増加しました。ジョブトレーニングコーナー利用者の傾向として、未知の職場環境への不安が大きいことがあるため、職場環境を知ることができ、就労に繋がる可能性も視野に入れた訓練先を開拓する必要があります。 求人情報サイト「就職応援ナビすぎなみ」については、一定数の求人情報を安定して掲載していますが、利用者の操作性向上や現代の働き方の多様化に対応するための機能改善を行う必要があります。 また、令和７年度産業実態調査の結果から、区の就労支援事業は認知度が高い状況とは言えないことが課題となっています。これまでに活用していた広報媒体に加えて、運用を開始したInstagramの活用や関係機関と連携することで、引き続き区民の認知度の向上に取り組む必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	就労支援センターでは、ハローワーク新宿や福祉関係機関と連携し、就職前から就職後の定着まで、伴走型の支援を実施しており、就職決定件数は令和７年度と同等のペースで推移しています。 就職サポートコーナー（旧若者就労支援コーナー）では、新規登録者数は令和７年度と同等のペースで推移する中で、就労準備相談・心としごとの相談件数、セミナー受講者数が令和７年度を上回るペースで増加しています。 ジョブトレーニングコーナーでは、利用登録者数は令和７年度に若干及ばないペースであるものの、区内訓練事業所を増やし、ワークルームや区内事業所における就労準備訓練や社会適応力訓練を実施しました。10月にはふるさと就労体験を実施する予定です。 求人情報サイト「就職応援ナビすぎなみ」については、一定数の求人情報を安定して掲載しており、事業者訪問等により、新規求人情報の開拓も実施しています。 就職相談会・面接会については、下半期に人材不足業種を対象とした合同面接会を複数回予定しています。
事業の方向性・改善策	就労支援センター利用者における就職決定数の増加を目指し、就職サポートコーナーについては、セミナーの受講者が増加傾向にあること、定員を超える申込があるセミナーが一定数あることから、セミナー実施回数の増加を図ります。また、ジョブトレーニングコーナーについては、就労に繋がる可能性のある訓練先の開拓を進めます。 また、求人情報サイト「就職応援ナビすぎなみ」については、利用者の操作性向上や現代の多様な働き方に合わせた求人検索ができるよう、機能改善を行います。 さらに、関係機関とも連携しながら、区の就労支援事業の認知度向上を図り、就労支援センターの利用者や就職相談会・面接会の参加者の増加につなげます。 これらの取組により、求職者がそれぞれのライフスタイルに合った仕事を選びやすい環境を整えるとともに、求職者と区内事業者とのマッチングを強化し、区内中小企業の人材確保にもつなげます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	拡充
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	就職サポートコーナーのセミナー実施回数を段階的に増やします。 求人情報サイト「就職応援ナビすぎなみ」については、利用者の操作性向上や現代の多様な働き方に合わせた求人検索ができるよう機能改善を行い、求職者と区内事業者のマッチングの可能性を向上させます。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	求人情報サイトの見直しやセミナー実施回数を増加することで、求職者に対する就労支援の充実を図るとともに、人材不足に悩まれている事業者の人材確保の支援にもつなげます。